TTC 提案山行実施記録表

2012年9月3日　報告者:長谷川洋文

山行名	富士山　（富士吉田コース）			[3776m　山梨県／静岡県]
実施日	２０１２年９月１日（土）～２日（日）　一泊二日			自家用車利用
天候／参加人員	天候:9/1(土)曇り後雨、9/2(日)雨　レベル:★★			参加人員:7名(男 5 名/女 2 名)
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL/計画:　SL/車提供＆ﾄﾞﾗｲﾊﾞ:　会計:　救護:　スタッフ名削除			
参加メンバー	氏名削除			
費用 **￥13,300ー**	車使用料@10×250=￥2,500、燃料代@150×250/8≒￥4,700、ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ謝礼@5,000×2=¥10,000、 高速料金:(本厚木⇔御殿場)@700×2=￥1,400、(須走⇔富士吉田)@520×2=￥1,040、 バス代(富士北麓駐車⇔富士山五合目)@1,800×7=￥12,600、 宿泊代（御来光館一泊二食付き）@8,500×7=￥59,500 **費用合計￥91，740**　TTC ｶﾝﾊﾟ金¥1,360　**集金@13，300×7＝￥93，100ー**			

歩行・行動時間

2 日目悪天候のため、山頂を踏まず、山小屋から下山。

1 日目	歩行時間	休憩時間	行動時間	
ガイドブック	3:15			
計画	4:30	1:00	5:30	行動時間比(実行／計画) 0.82
実行	3:30	1:00	4:30	歩行時間比(実行／計画) 0.78
				歩行時間比(実行／ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ) 1.08

2日目	歩行時間	休憩時間	行動時間	
ガイドブック	2:20			
計画				行動時間比(実行／計画)
実行	1:40	0:30	2:10	歩行時間比(実行／計画)
				歩行時間比(実行／ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ) 0.71

実行コースタイム記録

◆9/1(土)　東名高速道　R138　東富士五湖道路　バス

ヨーカドー前＝＝＝厚木 IC＝＝＝足柄 SA＝＝＝御殿場 IC＝＝＝須走 IC＝＝＝富士吉田 IC＝＝＝富士北麓駐車場＝＝

6:25　6:30　7:10　7:25　7:30　8:00　8:15　8:20　8:30

30　55　60　昼食　20　45

＝＝富士山河口湖口五合目……六合目……七合目花小屋……東洋館……八合目太子館……御来光館（八合五勺）

9:15　9:45　10:15　10:25　11:20　11:30　12:30　13:00　13:20　13:30　15:15

◆9/2(日) 130　バス　R138　昼食　東名高速道

御来光館……富士山河口湖口五合目＝＝＝富士北麓駐車場＝＝＝富士吉田 IC＝＝＝太龍＝＝＝御殿場 IC＝＝＝ヨーカドー前

8:00　10:10　10:15　10:55　11:20　11:25　12:00　12:50　13:15　13:50

コースの概要、特記事項、反省事項等

「富士は日本一の山」と云う事で、私を含め行ったことの無い人向けに富士登山の計画を立てたが、これが結構難しい。まず山小屋がツアーに取られて予約が取れない。予約開始日の 4 月 2 日に予約を入れたが、夏休みの土曜日は埋まっていて 9 月 1 日になってしまった。次に登山者＆観光客が多すぎて、五合目の登山口には交通規制で行けないか、大渋滞である。御殿場でコンビニによっておにぎりを買おうとしたらすべて売り切れなど、とにかく登山以外のことに多くのエネルギーが費やされる。

交通手段は、自家用車で、富士吉田 IC すぐ近くにある「富士北麓駐車場」(当日は無料、スバルライン交通規制時 1000 円)に車を止め、路線バスで五合目へ向かうことにする。当初は 9 時 45 分のバスに乗る予定であったが、8 時 20 分に駐車場につくと8時30分の臨時バスがあるとの案内があったので、慌てて準備をしてそのバスに乗り込む。(3日ぐらい前に山梨県の観光課に臨時バスがないか訊ねたが、はっきり無いと言われた)五合目の手前はやはり大渋滞で、バスのアナウンスによると 2 時間から5時間待ちの状態だそうであるが、バスはそれらをパスし、45 分ほどでターミナルに着く。

五合目で、トイレや準備体操を終えた後、観光客でごった返しているターミナルから、登山道に向かうが、登山道入口の看板の前では、外人観光客がひっきりなしに写真を撮っている。ここで外人に写真を撮ってもらい登山道に入る。下は晴れていたが、五合目付近から雲が出始め、六合目からとうとう雨が降り出してしまった。ここからは、山小屋まで雨は降ったり止んだりであった。富士山の登山道は単調である。また雨の為、景色もほとんどない。暑さがないのが救いだったが、やはり富士山の上りは苦しいだけで面白みはない。八合目までは何事もなく進んでいたが、ここで足を攣ってしまった人がでた。ツムラの「芍薬甘草エキス68」を飲んでもらいゆっくり行き、山小屋までたどり着いたが、山小屋でも攣りが続き大変痛そうであった。15 時 15 分頃に山小屋に着くが、奥の寝るところはまだガラガラであった。他のメンバーの訊いたところによると、お客が来るピークは 20 時前後らしい。やはり富士山は他の山とは違う。山小屋の食事は、さばの味噌煮であった。味はよかったが、ご飯が少なかったのでお代わりを頼んだらできないとのこと。またお茶もお代わりができなく、一杯だけしか飲めなかった。

2 日目は 2 時に朝食(鮭半切れと沢庵の弁当＋紙パックのお茶)を食べ、2 時 30 分に出発の予定だったが、外は大雨と強風の為、しばらく様子を見る。8 時まで待ってみるが、ほとんど雨風は止まず、リーダー、サブリーダとも富士山は未経験のこともあり、安全を取り頂上へは登らず、下山することにする。風雨の中をブルドーザー道でもある単調な下山道をザクザクと進む。六合半ぐらいのところ来ると数頭の馬がつながれていた。休憩がてら馬を眺めていると、五合目まで乗っていくと楽ですよと声を掛けられる。値段を訊いてみると12000 円とのことで、全員絶句である。五合目に着くと今回も運良くすぐにバスに乗れた。帰りは予定より早かったこともあり、御殿場出身のメンバーの案内で、地元で人気のラーメン店「太龍」で昼食を取ることにする。ここの人気メニュー「太龍ラーメン」は、太麺の真っ赤なスープで牛バラ肉の固まりなど具沢山の夏バテに効きそうなおいしいラーメンであった。渋滞も無く予定より早く厚木に着くが、とにかく富士山の人の多さと営利主義(ほとんどの商品の値段の高さ)には驚かされる。富士山は標高が日本一高いが、値段も日本一高い所のようである。